

## 20. 眼科 臨床研修プログラム (選択)

### 1. 研修目標

眼科診療の基礎を理解し、基本的な診療方法を修得することに重点を置く。

### 2. 研修期間 2週～40週

### 3. プログラム指導者と参加施設

プログラム指導者 眼科 藤井 俊介

基幹病院 中部国際医療センター

### 4. 到達目標

- 1) 眼科における基礎的な診察の修得
- 2) 病歴の聴取
- 3) 視診による外眼部の異常の診断
- 4) 眼球運動、瞳孔反応の観察
- 5) 細隙灯顕微鏡を使った前眼部、中間透光体の所見が見える
- 6) 倒像鏡を用いての眼底の観察
- 7) 眼科における基礎的な検査の修得
- 8) 裸眼視力、矯正視力検査
- 9) 眼圧検査、色覚検査、両眼視機能検査
- 10) 前眼部撮影、眼底カメラ撮影
- 11) 眼科の基本的外来の処置が行える
- 12) 洗眼、点眼、点入
- 13) 涙囊洗浄、結膜下注射
- 14) 結膜異物の除去
- 15) 基本的眼科疾患の診断と理解
- 16) 感染性結膜炎の診断、治療と感染予防対策
- 17) 糖尿病網膜症の病期と治療
- 18) 急性緑内障の診断と初期治療
- 19) 急激な視力低下を起こす疾患の鑑別診断

### 5. 指導体制

- 1) 研修医は、常に指導医のもとに行動することを原則とする。特に危険を伴うと考えられる検査、処置、および手術は担当指導医の看護下で行う。
- 2) 救急患者が搬入されたときは、出来るだけその初期診療から関係を持ち診療する。
- 3) 指導医の誰かが当直をするときは、副直となり病棟での救急処置や時間外患者の救急処置について学ぶ。

### 6. 方略

1. 指導医の外来診療に同席し、病歴の聴取、視診による外眼部の異常の診断、眼球運動・瞳孔反応の観察、細隙灯顕微鏡を使った前眼部・中間透光体の所見の観察、倒像鏡を用いての眼底の観察を習得する。
2. 裸眼視力・矯正視力検査、眼圧検査、色覚検査、両眼視機能検査、前眼部撮影、眼底カメラ撮影を習

得する。

3. 洗眼、点眼、点入、涙囊洗浄、結膜下注射、結膜異物の除去を習得する。
4. 感染性結膜炎の診断・治療と感染予防対策、糖尿病網膜症の病期と治療、急性緑内障の診断と初期治療、急激な視力低下を起こす疾患の鑑別診断を習得する。
5. 手術に積極的に参加し、手術の実際を体験する。
6. カンファレンスに積極的に参加し、症例発表やディスカッションを行う。

## 7. 評価

指導医は、自己評価結果を隨時点検し、研修医の到達目標を援助する。

## 8. 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	外来	外来	外来	外来	外来
午後	検査・処置	検査・処置	手術	検査・処置	手術 カンファレンス